

カジカエデ *Acer diabolicum* Blume ex Koch

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 1、総点 11。温帯性の樹木で、愛知県では個体数が少ない。

【形態】

落葉性の高木。高さ 20m に達する。葉は対生し、各枝に 1~4 対生し、長さ 4~10cm の柄がある。葉身はほぼ五角形、掌状に浅~中裂し、長さ 6~12cm、幅 7~15cm、先端は鋭頭、基部は心形、裂片は 3 または 5、辺縁には大きな欠刻状の鋸歯があるが、細鋸歯はない。花期は 4~5 月、花序は総状で有花枝に頂生し、長さ 3~5cm、雌雄異株、雄花序は 5~11 花で下垂し、雌花序は 3~9 花でやや上向きにつき、花は淡緑色で紅色を帯びる。果実は 2 つの分果に分かれ、それぞれの分果は長さ 2.5~3cm、翼は鋭角に開く。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山 (小林 46624, 1993-8-17)、2 豊根 (芹沢 81457, 2007-6-2)、4 津具 (芹沢 82155, 2007-9-1)。西：5 稲武 (塚本威彦 2313, 1997-6-24)。6 設楽西部 (西納庫駒ヶ原口~峠, 鳥居喜一 25135, 1974-9-23, HNSM) で採集された標本もある。

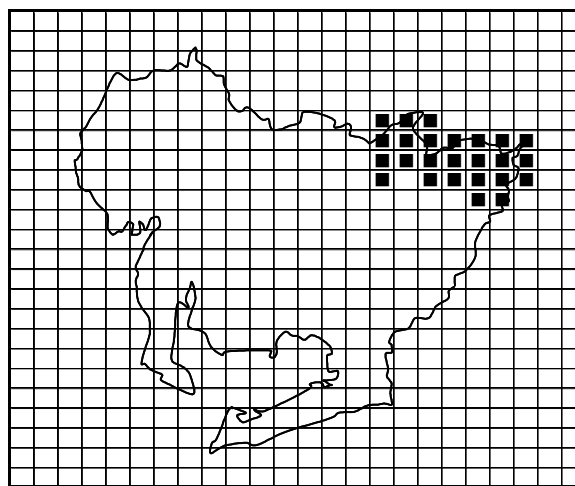
【国内の分布】

本州 (宮城県以南の主として太平洋側)、四国、九州。

【世界の分布】

日本固有種。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の落葉広葉樹林内に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

点在するが個体数は少なく、しかもほとんどが幼木で、開花結実するような個体はなかなか見られない。希少種であることを意識しない伐採等により失われるおそれがある。

【保全上の留意点】

愛知県では希少な樹木であることを認識する必要がある。特に成木については、個別的な保全が必要である。

【特記事項】

和名は、葉の形がカジノキに似ているからである。

【関連文献】

保木本 I p.289, 平木本 II p.16, 平新版 3 p.293.